

学校だより



新見市立矢神小学校 令和2年度 2月号

- やる気を出して学ぶ子
- がまん強く続ける子
- みとめ合って力を合わせる子

◇3学期が始まって、1ヶ月が過ぎました◇

令和3年がスタートして1ヶ月が経とうとしています。矢神小学校の子どもたちは、新しいめあてに向けて頑張っています。今年の1月は昨年に比べて、気温が低く、雪が降る日が多いです。それでも、子ども達は寒さに負けずコロナにも負けずに頑張っています。



6年生は、先日、哲西中学校の入学説明会に出席して、授業を見学したり部活動を体験したりしました。自分の将来への目標を新たにもつ機会になったのではないのでしょうか。子どもたちにとって、進学や進級を控えた大切な3学期。子どもたちが学校に来るのも残り30数日になってしまいました。昨年は、3月に全国一斉に学校休校になりました。今年は、進学や進級に大切なこの3月を一日一日大切にしたいと思います。保護者の皆様・地域の皆様、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いします。

◇新学期にあたり3つのめあてを話しました◇

1月8日の始業式で、子どもたちに3学期のめあてとして3つのことについて話をしました。1つ目は「目標をもって頑張る」です。(新年の始まりに、自分の立てた目標をあきらめずに根気強く取り組むことが大切。目標は勉強でもいい、友達のことでもいい、お手伝いやあいさつでもいい。とにかく自分で立てた目標を頑張るきること) 2つ目は「自分の役割を果たそう」です。(3学期は6年生を送る会や卒業式という大切な行事がある。また、普段の日直当番や給食当番、登下校など、数々の役割や責任がある。その役割をしっかりと果たすこと) 3つ目は「早寝・早起き・朝ご飯」です。(勉強を頑張れるのは、心身の健康があってこそ。その基本は、やはり規則正しい生活習慣がもとである。テレビやゲームの時間を減らす)



子ども達には、それぞれ自分の立てた目標があります。自分で決めた目標こそが大切です。私から話しためあても、子どもたちが頭の片隅において学校生活を頑張っているほしいと思っています。この学年最後の学期です。目標に向けて、根気強く取り組める子どもの姿を見たいです。

◇コロナウィルス感染予防に向けて◇

コロナとの戦いがもう1年近くになりました。昨年3月の全国一斉休校、そして4月半ばから5月初めにかけての再びの学校休校。昨年は、多くの学校行事が中止、延期、縮小になりました。今年になっても大都市圏で感染者が多く出て、緊急事態宣言も再び出されています。学校でも今までどおり3密(密集・密接・密閉)にならないように気をつけて、教育活動をしていきます。①マスクを着用する ②登校時・給食時にアルコール消毒をする ③教室の児童の机の間隔をとる ④教室の換気を定期的に行う ⑤給食時には会話を控える ⑥こまめに手洗い・うがいをする ⑦ドアノブ・取手等こまめに消毒する、などの感染予防の対策をひき続き行っています。ご理解・ご協力をお願いします。

～～2月の行事予定～～



日	曜	行 事 等 の 予 定	下 校 時 刻
1日	月	全校集会	16:00
2日	火	給食集会	16:00
3日	水	きらめきタイム 校内研修	15:20
4日	木		16:00
5日	金	新1年生体験入学・説明会13:40～	16:00
6日	土		
7日	日		
8日	月	校内通信ネットワーク工事(～12日まで)	16:00
9日	火		16:00
10日	水	安全の日 校内研修 スピーチ	15:20
11日	木	建国記念の日	
12日	金		16:00
13日	土		
14日	日		
15日	月	全校集会	16:00
16日	火	卒業写真	16:00
17日	水	家庭学習強化期間(～23日) 職員会議 代表委員会 わかくさ号来校	15:20
18日	木		16:00
19日	金		16:00
20日	土		
21日	日		
22日	月		16:00
23日	火	天皇誕生日	
24日	水	委員会活動 校内研修	15:20
25日	木	学級集金日 学校運営協議会10:00～	16:00
26日	金		16:00
27日	土		
28日	日		



1月の行事から — 知・徳・体のバランスのとれた児童の育成 —

<クラブ活動>

～地域の方に「お茶の点て方」「花の生け方」を指導をしていただきました～

月1回の割合で、水曜日の6時間目に3～6年生がクラブ活動をしています。このクラブ活動は、異年齢集団の交流を深め、共通の興味・関心を追究することがねらいです。月1回のクラブを子ども達はとても楽しみにしています。矢神小学校では、「スポーツクラブ」「カルチャークラブ」の2つのクラブが活動しています。



10月14日（水）のカルチャークラブでは、地域の方、川上由子さんから「お茶の点て方」を学びました。活動のめあては「お茶を点ておいしく飲もう」でした。子どもたちは、お茶の道具について学んだり、茶筌で抹茶を泡立てたりしました。また、お茶やお菓子をいただく作法も学びました。この活動で、日本文化の「茶道」にふれ、また専門的にお茶の作法を学ぶ機会ができ、子どもたちには貴重な体験になったことと思います。川上さんには、お茶の道具やお菓子を用意してくださったり和服姿で指導してくださったりと、茶道の雰囲気を子ども達に味わわせていただきました。ありがとうございました。

1月20日（水）のカルチャークラブでは、地域の方、安田志津江さんから「生け花」を学びました。素材のお花や花器は、安田さんが用意してくださいました。最初から子ども達はやる満々。安田さんの話をよく聞いて、子ども達一人一人、かすみ草やカーネーション、ガーベラ、デンファレなど花の素材を生かし、青竹の花器に生け花を完成させました。出来上がった作品を誇らしげに友達にみせる子ども達。満足感いっぱいの子ども達でした。安田さん、ご指導いただきありがとうございました。



<全校遊び> ～運営委員会児童が計画・進行了ました～

1月14日・15日（木・金）の業間に全校遊びをしました。運営委員会が計画し進行了しました。全校児童で一つの遊びをします。下学年児童はとても楽しみにしています。今回は、初めての試み、「縦割り班対抗ドッジボール」です。トーナメント方式で優勝を競うものです。5つの縦割り班と先生チームも登場。なんと優勝候補の先生チームは、1回戦で早々と子どもチームに敗退。子どもチームもやはり高学年児童の力は凄いです。

優勝を競いましたが、高学年児童が勝敗にこだわらず、1年生や2年生にもボールを回したりするなど、下学年児童も活躍できました。会の最後の振り返りでは、多くの子ども達が「楽しかった」との感想が出ました。冬場の体力作りも兼ねて、運営委員会児童の工夫したこの取組、楽しくできてよかったです。次はどんな企画ができるか楽しみです。



<給食週間> ～食の大切さを学ぶ～

1月24日～1月30日までの1週間は「学校給食週間」でした。学校給食は、明治22年に山形県の小学校で始まって以来、各地に広がっていききましたが、戦争の影響で中断されました。戦後、食料難による児童の栄養状態の悪化を背景に学校給食の再開を求める国民の声が高まり、昭和22年から学校給食が再開され、昭和25年から1月24日～1月30日までの1週間を「学校給食週間」としたそうです。

矢神小学校でも、この週間に合わせ、食品の栄養や産地などの学習をします。お世話になっている「給食調理員」「米粉パン工房」「給食・牛乳配達」「哲西栗生産組合」「野菜生産組合」の方に感謝の手紙を書きます。また、2日（火）には、「給食集会」を開き、健康委員会の子も達が「学校給食調理場のクイズ」をしたり、「好きな給食メニュー」アンケート結果の発表をしたりします。河原栄養士には「学校給食」についての話をしてもらいます。「食べる」ことは「生きる」ことです。今後も給食を通して食の大切さを子ども達に伝えていきたいと思っています。

<雪の業間> ～矢神っ子はたくましいです～

この冬は寒気がたびたび入り、厳しい寒さの日が続きました。哲西町内では、朝の気温が-8℃だった日もありました。積もる雪の量は、前の冬より今の方が多いです。12月17日（木）の朝は、運動場に10cmほどの雪が積もりました。業間の時間になると、子ども達はマイナスの気温などものともせず運動場に出て、雪で元気に遊びました。雪だるまを作る子、雪合戦を



する子、そりを走らせる子。子ども達は工夫をしながら、友達と雪で遊びました。私たち大人は、あまり雪が降ってほしくないのですが、子ども達にとっては、絶好の遊びの場になります。雪合戦や雪だるま作りは、雪がたくさん降らないとなかなかできません。子ども達には、安全に気をつけて、この冬場しかできない遊びを楽しませたいです。

<冬休みがんばりカードの表彰> ～めあてをもって生活しました～

冬休みは2週間ありました。子ども達はその2週間の生活に、「これだけはがんばる」という自分の目標を立てて生活し、毎日振り返りをしました。多くの子ども達がめあてに向けて頑張りました。その取組がパーフェクトだった12人を表彰しました。よく頑張りました。全員の「頑張るカード」（きらきらスペシャルカード）は、保健室横の掲示板に掲示しています。めあてをもって生活が、普段の健康に生かされていくものと思います。



<哲西中学校入学説明会> ～中学校でもがんばるぞ～

1月21日（木）に6年生3人が、哲西中学校の入学説明会に参加しました。1年生の「社会」、2年生の「国語」、3年生の「理科」の授業を参観させていただきました。その後、iPadを活用した授業も体験しました。3年生がiPadの使い方を丁寧に教えてくれました。続いて、学校行事などの中学校生活についての説明を聞き、部活動の様子も見学しました。見学あり体験ありでとても充実した説明会になりました。6年生には、4月から始まる中学校生活に向けて、気持ちを引き締める機会になったことと思います。保護者の方は、「親育ち応援学習プログラム」で、スマホやゲームの使い方について、親同士の交流を深めました。



<子どもたちの夢> ～新年にあたり、子ども達に「夢」を聞きました～

人は、自分で決めた目標をもつとそれに向けて頑張ろうとします。今、何をしておかないといけないのか、時間を無駄にしないよう努力します。人に言われたことや、人にやらされることは、体の内側から出る大きなエネルギーにはなりません。まだまだ、社会経験が少ない子ども達ですが、子ども達なりに将来の「夢」をもってほしいと願っています。今の夢が変わったり、実現できない厳しい現実にあふつかることがあると思いますが、それはまだ先のこととして、自分の夢が語れる子になってほしいと思います。

現在、コロナ禍で、大人にとって普通の生活が送れない厳しい現実があります。でも、将来を担う子ども達に明るく希望を持たせるのが大人の役割だと思います。子ども達に将来の夢を聞きました。紹介します。保護者の皆さん、地域の皆さん、子どもの夢を応援してやってください。

<下学年（1～3年）>

おはなやさん 学校の先生 パティシエ どうぶつのしいくいんさん
おいしゃさん かんごしさん 大工さん 道の駅の仕事 自えいたい
画家 建具屋 保健室の先生 ペット屋さん ビザ屋さん

<上学年（4～6年）>

建築士・保育園の先生 銀行員 自分で作ったものを売る仕事
イラストレーター 教員 大工 父さんの仕事を引き継ぐ



